

(25) 非ホジキン病の病期分類

該当する分類の値“1”～“4E”に続けて、該当する症状を“A”又は“B”により入力する。

例 III S期でBの症状がない場合 → 3SA

値	分類	所見
1	I期	1か所のリンパ節病変。
1E	I E期	リンパ節外の1臓器に病変が局在。
2	II期	横隔膜の同側の（下半身または上半身に限局した）2か所以上のリンパ節病変。
2E	II E期	1か所のリンパ節外病変と所属リンパ節であるか否かに関わらず、横隔膜の同側のリンパ節に限局。
3	III期	横隔膜の両側の（上半身にも下半身にも病変がある）リンパ節病変がある。
3E	III E期	III期に加えて1か所に限局したリンパ節外病変がある。
3S	III S期	III期に加えて脾臓病変がある。
3SE	III S + E期	III期に加えてリンパ節外病変も脾臓病変もある。
4	IV期	1か所以上のリンパ組織以外の臓器に病変が播種した（または多源性の）状態、またはリンパ組織以外の臓器原発で遠隔リンパ節にも（所属リンパ節より外にも）病変がある状態。肝病変などのように、リンパ節外臓器にびまん性に病変が広がっている状態を意味する。
4E	IV E期	リンパ節外組織から発症した場合。

○ 症状

A	Bの症状がない場合
B	以下の症状がある場合 ① 診断前6か月以内の、原因不明の10%以上の体重減少 ② 原因不明の38℃以上の発熱 ③ 大量の寝汗

Q&A

Q：いつの時点のものを入力するのか。

A：今回の治療方針を決定する際に使用した病期分類を入力のこと。

(26) Burn index

「Burn index」=0.5×Ⅱ度熱傷面積%+Ⅲ度熱傷面積%の値を入力する。

例 Ⅱ度熱傷面積が10%でⅢ度熱傷面積が10%の場合 → 15

Q&A

Q：凍傷の場合も入力が必要か。

A：凍傷についてはBurnindexを用いないが、皮膚表在性の広さにより仮に評価し入力のこと。

Q&A

Q：熱傷があるがBurn index値が「0」の場合は入力しないのか。

A：「0」を入力する。

Q&A

Q：Ⅰ度熱傷面積はBurn index値の計算に使用しないのか。Ⅱ度、Ⅲ度のみか。

A：Ⅱ度、Ⅲ度のみ。

(27) その他の重症度分類・名称

上記に定義されている重症度分類以外で記述できる重症度分類がある場合に、その分類名を記入する。

(28) その他の重症度分類・分類番号または記号

(32)で記入した分類の該当する分類番号または記号を記入する。

(29) 救急カテ実施時間（外来受診ーカテ開始までの時間（実数））

外来受診から心臓カテーテル開始までの時間（単位：H）を入力する。対象は、救急搬送患者（ただし、救急搬送されない救急外来受診、入院患者（院内発生）は除く）とする。また、起点は、外来受診又は救急車到着時点（受付時点）とする。終点は、検査開始時時点とする。

(30) 救急脳血管障害検査実施時間（外来受診ーCT, MRI開始までの時間（実数））

外来受診からCT, MRI開始までの時間（単位：H）を入力する。対象は、救急搬送患者（ただし、救急搬送されな